



DECORATION 13 PHOTOS

ROUNDED IMAGE (1 OF 13)

## 丸い写真について

「一家に1枚 日本列島7億年」ポスターでは、イラストやコラムの隙間に、**日本国内の美しい鉱物・化石・岩石の写真13枚**を配置しています。



1

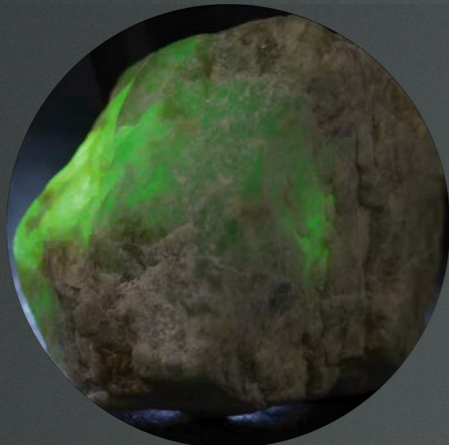


1 日本式双晶の水晶（長野県）  
水晶（石英）の双晶にはたくさん種類があります。日本式双晶は、2つの結晶が1つの結晶面を共有し、約85°の角度で接合した双晶の種類の一つです。

DECORATION 13 PHOTOS

ROUNDED IMAGE (6 OF 13)

2



3



4



5



6



7



2 宝石質のひすい（新潟県）  
古生代前期、約5億年前のプレート沈み込み帯を特徴付ける特殊な変成岩。沈み込み帯深部のくさび状マンツルの蛇紋岩のなかでできたプレートテクトニックな宝石です。

5 三葉虫の完全な化石（岩手県）  
石炭紀の三葉虫（岩手県産）。節足動物の一種の三葉虫は、化石になる過程で、関節がバラバラになるため、完全な姿で産出することは稀です。

3 アンモナイトの化石（北海道）  
方解石に置換されたアンモナイトの化石。縫合線と呼ばれる複雑な模様が見えます。縫合線はアンモナイトの分類や進化を考えるのにとても役立ちます。

4 フクイラプトルの骨格（福井県）  
白亜紀前期に栄えた肉食恐竜、獣脚類の化石（複製）。日本で発見された肉食恐竜としては初めて全身骨格が復元されました。体長が推定で4.2 mの未成熟固体です。

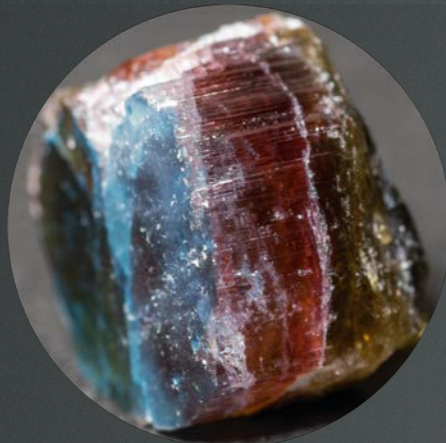
4 アンモナイトの化石（北海道）  
北海道中央部の蝦夷層群は白亜紀後期のアンモナイトを産出する地層として、世界的に有名です。非常に保存状態がよく、変形もほとんど被っていません。

7 ブナの仲間の葉の化石（宮城県）  
日本全域の新第三紀の地層から豊富に見つかります。温暖だった古第三紀の常緑広葉樹の森林が、冷涼な温帯の気候に変わって落葉広葉樹が広がったことを意味します。

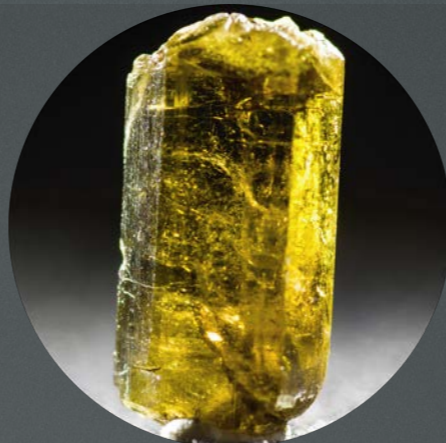
DECORATION 13 PHOTOS

ROUNDED IMAGE (6 OF 13)

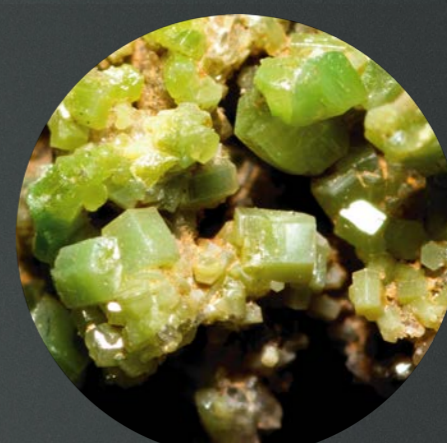
8



9



10



11



12



13



### 8 リチア電気石 (岩手県)

リチウムに富んだペグマタイト鉱床から産出したリチア電気石。この結晶は結晶に含まれる元素の量の違いによって、一つの結晶のなかでさまざまな発色が見られます。

### 11 灰鉄ざくろ石 (長野県)

日本各地のスカルン鉱床は鉱物収集家の聖地です。この写真のような美しい結晶に出逢えるかもしれません。しかし、乱獲や盗掘などはせず、露頭保護を心がけましょう。

### 9 緑れん石 (福島県)

緑れん石は日本国内の高圧型変成帯の結晶片岩に一般的な鉱物ですが、石灰岩が花こう岩の貫入で接触変成を受けてできたスカルンにしばしば宝石質の結晶ができます。

### 12 逸見石 (岡山県)

石灰岩が高温の熱水の影響を受けて変成することでスカルン鉱床ができます。岡山県中西部にはホウ酸塩鉱物の逸見石を始め、たくさんの新鉱物が見つかっています。

### 10 緑鉛鉱 (秋田県)

鮮やかな緑色の緑鉛鉱は、燐(リン)と鉛を主成分とする磷酸塩鉱物。珪長質火山岩に伴う、熱水性の鉛に富んだ鉱石から二次的に成長した比較的稀な鉱物です。

### 11 リチア電気石 (茨城県)

リチウムに富んだペグマタイト鉱床から産出し、特に美しいものは宝石として出回ります。日本にも宝石質のリチア電気石の産出が知られています。